

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協 ひろば

第94号（準備会から通算第115号）

発行日 令和7年年2月1日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 山崎 徳次郎

…日本の四季が温暖化で二季に？…

2024年の夏（6～8月）の平均気温は2023年夏と並び、1898年の統計開始以来最も高く気象庁は「異常気象だった」としています。気候変動に詳しい三重大教授は地球温暖化により日本の四季は二季へと変わりつつある、と言っています。

これは夏と冬に比べ春と秋は非常に短くなって、10月でも多くの地点で最高気温が30度以上の真夏日を記録するなどの現象を呈し、紅葉は後ろにずれ秋を楽しむ間もなく寒さがやってくる。

その大きな原因は偏西風の蛇行だそうです。しかもその蛇行の原因も地球の温暖化だそうです。

日本付近の上空を西から東に吹く風を、偏西風といいます。偏西風の北側は冷たく、南側は暖かい。南北の温度差が大きい程、偏西風は速く真っすぐに吹きますが、温暖化で北極圏の気温が上昇し、温度差が縮小すると、遅くなった偏西風は大きく蛇行し易く、日本を二季化させています。

夏は、偏西風が日本の北に蛇行するため南の暖気が入りやすくなり、猛暑をもたらします。

逆に冬は日本付近で南に下がる傾向にあり、北極圏からの寒気が流れこみやすい。

冬全体でみると以前より気温が高く積雪も少ないが、ひとたび寒気がやってくると非常に寒く、ドカ雪になる。

記録的な暑さの要因には海面水温の上昇もあるといわれ、海水の温度が上昇すると水蒸気が増加します。観測結果からも南からの暖流（黒潮）上に大量の水蒸気が観測されています。

南からの風がこの水蒸気を上空へ押し上げ積乱雲を発達させ、線状降水帯の発生に至り大量の降雨をもたらす洪水の要因になります。

このような現象の要因が地球温暖化である以上人間が気温を上げていることになり、もはや人災といってもいいのではないかと教授は言っています。気候変動が生活に関わり多くの市民がこれを理解し、知ることで温室効果ガスの削減に努めれば人災である以上温室効果ガスが削減され、また豊かな自然を回復することにつながります。でもその年数は…。

校区住民協 代表 山崎 徳次郎

令和6年12月度役員会

開催日時と場所：2024年12月7日（土）13

時00分～15時00分 久木会館、

出席者：19名（内役員13名）

議題

(1) 行政からの連絡事項

①年末年始のゴミ対応の件（環境都市課）

首題の件の説明があつた。また、環境クリーンセ

ンターで起きた火災の影響で、不燃ごみ、粗大ごみの持ち込みは中止であるとの補足説明があつた。

②逗子市地域公共交通について

逗子市の地域公共交通に関して、協議会を立ち上げる件、また計画策定のスケジュールなどにつき説明があり、令和 8 年度までに結論を得る予定であることが説明された。また協議会条例に関しては、議会承認を得る手続きにはいっており、協議会の委員は非常勤特別職として委嘱されるとの説明があった。

本件に関し、以下のような意見が出された。

- ・いろいろ視察を実施したようだが、それぞれの

(2) 事務局からの報告事項

①久木小学校改築スケジュールの件

資材搬入路の市道の下が暗渠になっており、20 トンの荷重までしか耐えられない事が判明し、予め組み立てたブロックを持ち込む工法を考えていたが、不可能になった。よって工法の検討、費用の算定などやり直す必要があり、少なくとも 1 年は工期が遅れるとの説明が市からあったこと

(3) 審議事項

①防災訓練(11/17 実施)の件

翌月の住民協ひろば/防災訓練特別号の内容が紹介された。

各項目の原稿記載者の確認が実施された。また読者の興味を引く為に、写真をいれたらからどうかとの提案があり、防災訓練の写真を撮影した人は編集者の鈴木氏に提出することになった。

また TV で最新防災グッズの紹介をする番組があったことが紹介され、参考になることから、機会をもうけて役員会でビデオを視聴することになった。

②拡大久木朝市(11/23 実施)の件

PTA も通常朝市のメンバーも、自分達の店の設営は、自分達ですることが徹底してきて、問題なく運営できた。また、三浦野菜は今回も好評

地域特性、また特徴・利点・課題などをまとめて総括しているのか？ そのような情報を有効に生かすようにしてもらいたい。

- ・上記の情報は市民に公開すべきである。
- ・すでに福祉関係者とのヒアリングを開始しているようだが、そのような情報もきちんとまとめて、有効活用してもらいたい。
- ・計画策定の途中でも、困窮度などを考慮して、アクションのとれるものは優先して実施して欲しい。

が報告された。

②逗子市住民協連絡会の件

12 月 20 日に連絡会が予定されている。至近の闇バイトなど物騒な案件が多々あることから警察を招いて講義を受ける予定。また、各地域で開催された防災訓練の振り返りが話題となる予定であり、次回の役員会で報告したい。

で、大根・かぶ のセットを 55 セット仕入れたが、30~40 分で完売したことが報告された。

③その他

a) 会計用パソコンの件

会計ソフトを稼働する為のパソコンは住民協で用意し、会計に貸与することが全会一致で承認された。パソコン購入の為のサポートを、瓶子氏と鈴木氏に要請された。

b) 1 月の役員会の件

1 月 4 日は休止とし、21 日の連絡会を役員会と兼ねて実施することとなった。

c) 100 条委員会の件

会員の桑原氏に関連する市議会の 100 条委員会につき、高野氏より簡単な報告があった。

d) 逗子高校跡地の件

首題の跡地利用として、京浜急行が新たな拠点として活用したいとの要望があり、今年度末までに結論を得る予定であることが報告された。

平成 7 年 1 月度役員会

開催日時と場所：2025 年 1 月 21 日(火) 13:

00~15:00 久木会館、

出席者：13 名(内役員 11 名)

議題

(1) 事務局からの報告事項

①逗子市住民協連絡会(12/17(金)実施)報告
今回は、防犯がテーマで逗子警察署から強盗、特殊詐欺などについて、注意喚起、情報提供があった。また認知症の人などの行方不明に関する情報提供もあり、市役所では生活安全課が対応しているとの説明があった。

②高齢者の移動手段に関する公共交通に関する懇話会が 2 月から開始されるが、久木住民協からは、長嶋氏が代表として出席することが報告された。

③次回 1 月 31 日の住民協連絡会は、防災がテーマとなるので、龍村氏に同席するよう要請された。

(2) 審議事項

① 災ボラ/小林氏の講演及び防災訓練等の在り方 確認会合の件

2月15日9時～11時/久木会館にて主題の会合が開かれるが、龍村氏が連絡した人以外に、自主防災組織の構成員など防災に関連した人にも関係者から連絡するよう要請された。

② 各部長からの来期の活動予定の件

減災部会：

a) 以前に実施した危険傾斜地調査のフォローを実施する。現地確認を再度実施し、市の担当部署との確認/調整を実施する。

b) 久小地域防災拠点のリーダーとなる堀田氏との街歩き/地域確認に関して、ハイランド地区のみ実施していないので、早急に実施に向けて調整する。

子ども部会：ふれあい部会：拠点部会：

上記の3部会については、下記の如く of 多様な意見があり、来期の活動については、持ち越しとなった。

- ・3部会は共同でイベントなどを実施しており、1つの部会としてまとめるのが良い。

- ・地域福祉の在り方を継続的に考慮してゆく為には、「ふれあい部会」は継続すべきである。

- ・福祉も防災に包含される、防災というくくりで、全体を一つの部会活動としてもいいのではないかな。

- ・住民どうしの助け合い、居場所作り、非常時の共助の関係などは福祉としても捉えられるが、防災の観点を加味すると焦点が定まるような気がする。

- ・山の根自治会のお互いさま活動は、個別支援に

重点が移ってきている。今後、各地域での個別援助計画が主流となるのではないかな。

- ・特に3つの部会にこだわらず、似たような活動をまとめて、イベント部会としたらいいのではないかな。

- ・防災に関しては、個別支援を考える会(出来ない理由分析、どうしたら可能なかの考察)などがある

といいと思う。

- ・子供特有の問題があると思うので、「子供部会」は必要ではないかと思う。

- ・子育て世帯が住民協の会合などに参画していないので、子供の問題はつかめないと思う。

- ・子育てに関しては、行政でもさまざまな支援の仕組みが構築されてきているので、有効活用の為の情報提供などが活動として有効である。

- ・「人と人とのつながり構築を支援する会」というくくりで部会活動をすればいいのではないかな。

- ・住民協の会合に出席する顔ぶれはいつも同じで、議論が硬直化しているのではないかな。

新たな人を呼びんで、違う視点で議論してもらうことが必要ではないかな。

- ・市の助成金「地域づくり事業経費」申請を地域から応募できるようにしたらどうか。

- ・来期の組織力強化には、世代交代が必要で、新たな人を巻き込んで後継者を育てていくことが肝要である。

- ・阪神淡路大震災の例からも、20～30m 範囲の近所どうしの助け合いが重要である。

- ・組織改革をするのであれば、急に全体をまとめて1つにするのではなく、少しずつ改善を重ねていくのがいいと思う。

《寄稿》

43 歳の教え子の感覚と 75 歳の感覚

2024. 6. 8
駄洒落栖人

K 中卒業の生徒は今、43 歳。卒業して 28 年経ちました。

その彼らの一人、生徒会長であった人物にあることを依頼しました。彼らが中学2年生の時に「体験学習」を実施したのです。その時は考えてもいなかったのですが、この体験学習がなんと神奈川県では初めての実践だったのです。神奈川県で初めてということですから、全国的にもかなり早い実践だったのです。その彼らが、43 歳、この度、同窓会を初めて開くことに至りました。そ

の彼らに「あの時の体験学習の意味を問えたらなあ」と何時しか思うようになっている自分がいました。

そのアンケートが夢ではなくとれることになりそうなんです。貴重なデータになることは間違いありません。今、横須賀市では「キャリア教育推進事業」と銘打って、産官学(横須賀市、横須賀商工会議所、横須賀教育委員会)が力を合わせて、中学生のキャリア教育を全中学校に展開して体験学習を中心に据え様々なキャリア教育を展

開して 15 年ほど経ちます。その意義、理念を応援できるデータが読み取れるかもしれません。ワクワクします。

そのアンケートを生徒会長の彼に相談しました。というのも彼は、今回の同窓会の取りまとめ役になってくれたのです。彼の周りには、サポート軍団がいます。私との打ち合わせは能見台駅から歩いて 3 分の所にある沖縄料理の店、ここもこの仲間の一人が経営しているのですから、とても素敵なことです。今日も同窓会を前に打ち合わせメンバーが 4 人集まりました。

重要なアンケート、全員に近い形でデータが取れたら貴重な資料を得られる、そんな私の思いを受け止めてくれました。今夕がその方法の提案となるのでした。彼が作ってくれた line アプリを使ったアンケート回答方法を全面的に受け止め、お願いした。

それはこんな方法です。

Line アプリに私が紙ベースで書いてみたアンケートの質問を、line で回答するものです。私のアイデアは、紙ベースを封筒に入れて、私に返信してもらう方法なのです。

彼と彼らの考えでは、紙に回答を書いて投函する奴なんかいません。紙をもらって家に帰ったら、もうそのままです。アプリなら興味持って簡単だと回答してもらえそう、とのこと。切手が封筒に貼ってあっても、ボールペンをもって書くという

行為そのものをしませんから。みんなアプリに入力ですよ。

そっか、そういうことか。

彼と彼らに任せた。私ができること、することは同窓会の席上で、このアンケートに答えることがいかに後輩のためになるのかを訴えて、より多くの卒業生に返信してもらうように頼むことです。出されたアンケートをエクセル ID を書いてくれるような用紙を作った。こう言われた、「先生、住所なんて使わないでしょ。なんの意味があるんですか。住所聞いた途端、引いちゃいますよ。電話番号だって論外です。名前だけでいいんですよ」「えっと、アンケート出たらそいつに追っかけ聞きたいことができれば、連絡したいじゃん。どうすんだよ。」「それは私が仲介して連絡を取れるようにして、先生と直接、連絡を取れるようにしますよ。」「わかった。よろしく。」

当日を楽しみにして打ち合わせを終わりにしました。そういう時代なんですね。

私は、ちょっと悔しくてこんな質問をしました。自治会町内会のお知らせとか、どうしてんの？」今はまだ上の人がいるから駄目ですけど、我々がその年代になったら、みんなメールやラインでしょうね」ですって。

そっかが私の声なき声でした。

細野 裕（校区住民協 監事）

編集後記

DeNA 南場智子（南場ともこ）オーナー・・・

11/30 に横浜ディー・エヌ・エーの優勝パレードの放送をたまたま見ていたら、先頭の自動車に三浦監督と並んで手を振っている女性がいた。誰なんだろうと調べてみたら同球団のオーナーである南場智子氏であった。経歴を見ると津田塾大卒業、米国ハーバード大学 MBA 修了、IT 大手の株式会社ディー・エヌ・エーの創業者であり、同社代表取締役会長、横浜ベイスターズオーナー、女性初の日本プロ野球オーナー会議議長、女性初の日本経済団体連合会の副会長という錚々たる経歴に驚いた。10 年程前に夫の介護の為、一時第一線から退いたがその後第一線に復帰、上記の様な要職にある。

オーナーである横浜ベイスターズの観客動員数はリーグ最下位であったものが、今年はリーグ 3 位の主催試合で 235 万人を動員したとの事、施策としては球場の椅子、トイレの改修他、楽しめるボールパークとして投資を行い、本拠地横浜のファン層の分析・リサーチを行い、ファンと一体化したイベントを数多く企画実行して来た様である。DeNA 本社から優秀な人材を抜擢し球団経営の現場を任せた様である。

最近、女性のリーダーの育成という事にスポットが当たる事が多いが、南場智子氏はその代表例となるのだろう。

筆者は同氏の様に華々しい経歴でなくとも、家庭の中に、地域の中に優秀な人材は数多くいるのではと密かに思う次第である。

事務局長 石井 達郎